

波野名産のそばに舌鼓

波野高原新そばまつり

「波野高原新そばまつり」が11月10日、道の駅波野「神楽苑」で開かれ、集まった多くの来場者が、採れたての新そばを堪能しました。

ことしは旅館・ホテルの料理人で組織する阿蘇料理維新の会がプロデュースした「そばちゃんぽん」、そばいなりなどの創作料理が並んだほか、横堀岩戸神楽保存会による神楽の演舞で、まつりを盛り上げました。

また、恒例のそばの早食い競争には、子どもの部、大人の部合わせて18人が参加。会場からの大きな声援の中、大人の部で優勝した会社員の内田仁徳さん（三久保）は「あまりにも美味しかったので、すぐに食べ過ぎてしまいました」と優勝賞品を手に残る余裕の表情でした。



子どもの部で優勝した甲斐彪悟くん（宮地小3年）。一緒に出場したお兄ちゃんにも勝って喜んでいました。

8チームが熱戦 阿蘇市チャリティー野球大会



阿蘇市軟式野球協会長チャリティー杯が9月29日、一の宮総合運動公園で行われ、阿蘇市内の8チームが熱戦を繰り広げました。大会は、軟式野球の振興と、豪雨災害からの復興支援として市軟式野球協会が主催した

●優勝
Aパート 河津工業
Bパート チーム愛球

【大会結果】
ものです。大会結果は次のとおりです。なお、集まった義援金は阿蘇市に寄付されました。

花の種を風船に乗せて

尾ヶ石東部小で人権の花種飛ばし

尾ヶ石東部小学校で11月2日、「人権の花」運動（市・法務局・人権擁護委員協議会主催）で、育てた花の種を風船で飛ばす「人権の花種飛ばし」が行われました。思いやりや命の大切さを学んでもらおうと昭和57年から行われているもので、同小学校では、「マリィーゴルドやヒマワリなど4種類の花を、全児童で育ててきました。今回、その花の種を風船200個にそれぞれ結び付け、捨つた人へのメッセージを添えて大空に飛ばしました。佐藤太陽君（6年）は「みんなで助け合い、花を育てることができた。遠くの地できれいな花を咲かせてほしい」と感想を述べました。



いつまでも生き生きと。

エイジレス・ライフ実践事例等表彰

内閣府が表彰するエイジレス・ライフ実践事例に江藤晃氏、社会参加活動事例に音声訳あそカナリアの会（小島ヤス子代表）がそれぞれ選ばれ11月5日、市役所で受賞伝達式が行われました。

年齢にとらわれず自由で「生き生き」とした生活を送るエイジレス・ライフ実践事例で受賞した江藤さん

は、「一の宮シルバーふれあい一座」の座長として、認知症と家族の絆や地域の希薄化などをテーマにした劇を上演し活躍。あそカナリアの会は、目の不自由な方などのために「広報あそ」や「議会だより」「カルデラ」などを音声する活動がそれぞれ評価されました。

「一座のみんなでいたただいた賞。これからも協力し合って頑張っていきたい」と江藤さん。小島さんは「この受賞を励みに、利用者がいる限り続けていきたい」と受賞の喜びを語りました。



氏力小島（右）と、音声訳あそカナリアの会代表のヤス子氏（中央）

は、「一の宮シルバーふれあい一座」の座長として、認知症と家族の絆や地域の希薄化などをテーマにした劇を上演し活躍。あそカナリアの会は、目の不自由な方などのために「広報あそ」や「議会だより」「カルデラ」などを音声する活動がそれぞれ評価されました。



放送中!!

目指せ！東京オリンピック!!

アゼリア21秋のスポーツ祭



実際に泳いで指導する松田選手（中央）

北京・ロンドンオリンピック2008年バタフライ銅メダリストの松田丈志選手を招いた水泳教室（株東京アスレティッククラブ 指定管理者主催）が11月4日、アゼリア21で行われ小中学生55人が参加し指導を受けました。

松田選手は、中・高校生時代にアゼリア21で合宿に何度も訪れ「練習で苦しかったことを思い出す」とエピソードを紹介。教室では、松田選手が普段取り組んでいる練習法を基に、自ら泳いで指導しました。

子どもたちは「すごい泳ぎを間近に見ることができ、とても勉強になる」と松田選手の指導に熱心に耳を傾け練習に取り組みました。

また、一の宮中学校ではバウルセロナオリンピック銅メダリストの松永政行氏や池谷直樹氏を招いた体操教室なども行われました。



日本文化を楽しんで！

第2回波野地区中国人実習生と交流する会

波野のやすらぎ交流館で11月9日、第2回波野地区中国人実習生と交流する会が開かれ、中国人実習生42人を含む約80人が交流を深めました。

この催しは、農業や生花業などの実習生として来日している中国人との交流機会をつくろうと、波野地区の有志が昨年引き続き企画したもので、ことしで2回目。ステージでは、日本舞踊やひよっこ踊り、ASO☆KOI華流伝羅によるヨサコイなどが披露され、実習生は手拍子をたたきながら日本文化を楽しみました。

発起人の楢木野雄二さん（赤仁田）は、「日中の交流はもちろん、約80人いる中国人同士の交流も深めてもらえれば」と話していました。

会と子し
存っ拍楽
保よ手て
のひいて
の踊りた
山村よ実
産にこを
む

「いつもお仕事お疲れ様です！！」 勤労感謝の日に合わせ花を贈呈



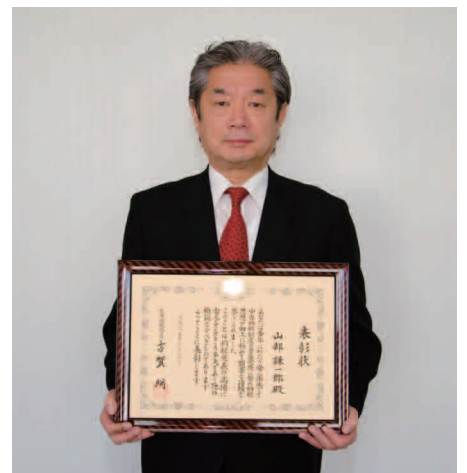
郵便局員に花を手渡す園児

11月23日の勤労感謝の日に合わせて地域で働く人たちに感謝しようと、11月20日、山田保育園の園児が山田郵便局と「A阿蘇管農産部中部事業所を訪問しました。

この日は、同園の代表26人が訪問。到着すると、大きな声で「いつもありがとうございます。お仕事頑張ってください」と声をそろえて感謝し、シクラメンの花を手渡ししました。

花束を受け取った職員はかわいらしい園児に目を細めていました。

申告納税制度の普及に貢献 納税貯蓄組合連合会会長に 国税局納税表彰



申告納税制度の普及発展に貢献したとして、阿蘇地区納税貯蓄組合連合会会長の山部謙一郎氏（阿蘇市商工会会長）が熊本国税局長納税表彰を受彰しました。

同会は、税金の円滑な納付を目的として、消費税の滞納防止活動や中学生を対象にした租税教育の推進などに献身的に取り組んでいます。

山部会長は「今後も、子どもたちへの租税教育やe-Taxの利用促進などに力を尽くしたい」と話していました。

黒坂黒太郎コンサー
トin阿蘇が10月25日、阿蘇いこいの村で開かれ、コカリナやピアノ演奏を楽しもうと、多くの来場者があり盛況でした。

今回の催しの益金15万445円は、九州北部豪雨災害支援金として実行委員会から市内12の小・中学校に寄付され、備品の購入などに充てられます。



黒坂黒太郎氏

入賞した皆さんに、佐藤市長などから表彰状が贈られました。

環境問題を標語、絵画で表現！

阿蘇市「ごみを減らす標語・絵画児童作品コンクール」



このコンクールは、子どもの頃からゴミ問題や環境への関心を深め、正しい認識を持ち成長してもらおうと市が毎年実施しているもので、対象となる小学4年～6年生から、標語部門に1805点、絵画部門に98点の応募がありました。

入賞作品は、12月末まで市役所本庁市民課カウンターに展示してありますのでぜひご覧ください。

ことしで7回目となる阿蘇市「ごみを減らす標語・絵画児童作品コンクール」の表彰式が11月9日、阿蘇体育館で行われ、市長、議長、教育長から受賞した児童に賞状と副賞が贈られました。

○入賞者一覧（敬称略）

標語の部

市長賞	森本 優雅	(阿蘇小 6年)
議長賞	甲斐 麟汰	(阿蘇小 6年)
教育長賞	後藤 世治	(古城小 5年)
優秀賞	山本 佳林	(山田小 4年)
	小田 遥己	(尾ヶ石東部小 5年)
	山本 ひなた	(坂梨小 4年)
	宇藤 豊太	(坂梨小 4年)
	中山 豪人	(阿蘇小 4年)

絵画の部

市長賞	後藤 明希	(内牧小 5年)
議長賞	紫垣 珠里	(内牧小 5年)
教育長賞	江藤 美桜	(阿蘇小 5年)
優秀賞	竹原 夕二郎	(阿蘇小 5年)
	高橋 知成	(阿蘇小 6年)
	山本 ひなた	(坂梨小 4年)
	三石 輝	(坂梨小 4年)
	岩下 翔人	(古城小 5年)

【絵画の部】

市長賞
後藤明希くんの作品



【標語の部】

市長賞
森本優雅さんの作品

いつもきれいか
かがやく阿蘇を
よごさない



戦没者に献花を捧げる参列者

戦没者への追悼を捧げる
平成25年度阿蘇市戦没者追悼式

阿蘇市戦没者追悼式が10月23日、阿蘇体育館で営まれ、阿蘇市遺族会連合会（山部征三会長）をはじめ、関係者など210人が参列しました。式では、遺族代表の追悼の言葉が述べられたほか、香雲堂吟詠会阿蘇中央本部（山部七生本部長）による献詠の後、参列者が献花を行いました。

また、阿蘇市の児童を代表して矢羽田詩媛さん（内牧小6年）が、作文を読み上げ、平和を願いました。